

令和 5 年度 事業報告書

(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

公益財団法人 岩手県下水道公社

令和５年度 事業報告書

基本方針

公益財団法人岩手県下水道公社は、岩手県及び県内市町村の下水道行政を支援するため、下水道の普及啓発や下水道施設の管理運営等の支援事業を行い、もって県民の衛生的で快適な居住環境の改善及び公共用水域の水質保全に寄与することを目的とした定款の趣旨に準じた次の公益目的事業及び収益事業を実施した。

○ 公益目的事業

- ・ 下水道の普及啓発事業
- ・ 下水道施設の管理運営支援事業
- ・ 下水道技術者育成事業
- ・ 下水道に関する調査研究事業
- ・ 排水設備工事責任技術者の資格認定事業

○ 収益事業

- ・ 下水道施設整備支援事業
- ・ アセットマネジメント支援事業

I 公益目的事業報告書

流域下水道施設については岩手県から、公共下水道施設については市町村から管理運営支援業務を受託し、適正かつ効率的な下水道施設の管理運営を支援するとともに、下水道知識の普及啓発及び下水道に関する技術研修並びに調査研究等について積極的に推進し、また、確実な排水設備の工事を実施するために必要な排水設備工事責任技術者資格を認定することとし、もって県民の衛生的で快適な居住環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与するため、次のとおりの事業を実施した。

1 下水道の普及啓発事業（資料編 資料 No. 5 参照）

（1）施設見学

流域下水道の全施設において、29 件 875 名に施設見学を実施した。

（目標：（2）の出前講座と併せて 20 件）

（2）下水道出前講座

水洗化率の向上と下水道の役割等についての啓発のため、対面による出前講座を 17 回 371 名に実施した。

（3）イベント

北上浄化センターにおいて、北上川上流流域下水道事務所との共催によりイベント「下水道探検ツアー」を開催したほか、外部イベントの協力として滝沢市、山田町、大船渡市、一戸町、一関市、洋野町の 6 市町へ協力し 2,286 名が来場した。

このほか、4 市町へ普及啓発用パネルを貸出した。

（目標：集客者数 2,000 人）

（4）下水道相談室

下水道に関する相談や質問を受け付ける窓口として設置し、処理場の維持管理などに関する相談 3 件に対応した。

2 下水道施設の管理運営支援事業

（1）流域下水道施設

北上川上流流域下水道及び磐井川流域下水道の 4 浄化センターにおいて、適正で効率的な維持管理を支援するため、民間事業者の行う運転操作や水質汚泥分析等について、履行確認及び評価並びに指導助言を行った。

また、施設の安定稼働のため、有資格者を配置して電気保安業務やエネルギー管理業務を行うほか、設備・管渠等の保全に係る設計書の作成及び監督等の業務を行った。各浄化センターにおける下水処理状況等は次のとおりである。

浄化センター	年度	年 間		一日平均		放流水管理状況	
		流入水量	脱水汚泥量	流入水量	脱水汚泥量	BOD5mg/L 以下	達成率
都 南	4 年度	千 m ³ 48,419	t 16,400	m ³ 132,656	t 44.9	52 日 / 52 日	100
	5 年度	48,711	16,250	133,091	44.4	52 日 / 52 日	100
北 上	4 年度	13,429	7,587	36,791	20.8	51 日 / 52 日	98.1
	5 年度	13,459	7,324	36,773	20.0	52 日 / 52 日	100
水 沢	4 年度	5,675	2,609	15,548	7.1	52 日 / 52 日	100
	5 年度	5,504	2,603	15,039	7.1	52 日 / 52 日	100
一 関	4 年度	3,557	1,796	9,744	4.9	53 日 / 53 日	100
	5 年度	3,527	1,825	9,637	5.0	52 日 / 52 日	100
合 計	4 年度	71,080	28,392	194,739	77.7	208 日 / 209 日	99.5
	5 年度	71,201	28,002	194,540	76.5	208 日 / 208 日	100
※BOD 5 mg/L は、岩手県が民間事業者との契約で定める基準 ※下水道法では、BOD 15 mg/L と規定						目標：達成率 90%以上	

(2) 公共下水道施設

市町村が管理する下水処理場において、運転計画の作成などにより維持管理全体のマネジメントを行うとともに、民間事業者の行う運転管理や水質汚泥分析等に係る履行確認及び評価を行い、5 市町村 6 処理場の管理業務を支援した。

運転状況の管理は、今年度から放流水 BOD を指標としている。

自治体	処理場	年度	放流水質管理状況	
			BOD5mg/L 以下	達成率(%)
奥州市	前沢下水浄化センター	4 年度	23 日／ 24 日	95.8
		5 年度	24 日／ 24 日	100
洋野町	種市浄化センター	4 年度	23 日／ 24 日	95.8
		5 年度	24 日／ 24 日	100
	大野浄化センター	4 年度	24 日／ 24 日	100
		5 年度	24 日／ 24 日	100
一戸町	一戸町終末処理場	4 年度	24 日／ 24 日	100
		5 年度	24 日／ 24 日	100
陸前高田市	陸前高田浄化センター	4 年度	18 日／ 25 日	72.0
		5 年度	24 日／ 24 日	100
九戸村	九戸村浄化センター※	4 年度	—	—
		5 年度	—	—
合計		4 年度	112 日／121 日	92.6
		5 年度	120 日／120 日	100
			目標：達成率 90%以上	

※九戸村との契約はマネジメント業務を含まないため、管理目標の設定をしていない。

3 下水道技術者育成事業 (資料編 資料 No. 6 参照)

(1) 技術研修

市町村下水道担当職員等を対象に、下水道管理者として修得しておくべき基本的な事項等についての「技術研修」を次のとおり 2 回実施し、22 団体参加した。

(目標：(3)のテーマ別研修と合わせて参加団体 延べ 100 団体)

回数	開催期間	研修内容	参加人数
第1回	令和5年5月18日(木) ～ 5月19日(金)	下水道管路施設の設計積算	(8 県市町村) 18名
第2回	令和5年6月1日(木) ～ 6月2日(金)	管路施設の維持管理、処理場運転管理、 処理場設備の維持管理(機械・電気)	(14 県市町村) 23名

(2) 日本下水道事業団研修支援

下水道の適正かつ効率的な管理運営を行うために、日本下水道事業団の「下水道研修」に参加する12市町に対して受講料の支援(負担)を行った。

研修コース	研修名	支援先
実施設計	処理場設計Ⅰ	久慈市
	管きょ設計Ⅱ	盛岡市、大船渡市、一関市、山田町
維持管理	管きょ維持管理	北上市
	事業場排水対策	釜石市
	処理場管理Ⅱ	宮古市、二戸市
基礎	処理場設備の基礎講座	紫波町
工事監督管理	工事管理	陸前高田市
経営	下水道使用料(初級)(オンデマンド)	花巻市

(3) テーマ別研修(テーマ: 公営企業会計研修)

地方公営企業会計の導入への対応が急務であることから、「地方公営企業会計」をテーマに次のとおり定期研修3回、特別研修2回、そして研修に付随した個別相談会を5回開催し、112団体が参加した。

(目標: (1)の技術研修と合わせて参加団体 延べ100団体)

回数	開催期間	研修内容	参加人数
研修	第1回	令和5年6月21日(水)	管理者・新任者向け研修 (24 県市町村) 55名
	特別※	令和5年6月22日(木)	令和5年度資産調査及び会計システムの工程確認 (10 市町村)
	第2回	令和5年8月2日(水) ～ 8月3日(木)	移行後の課題(経営戦略、財務分析等) 移行作業(予定開始貸借対照表等) (19 県市町村) 41名
	第3回	令和5年10月11日(水) ～ 10月12日(木)	移行作業(予算、開始貸借対照表の最終確認) 移行後の課題(広域化・共同化、使用料改定等) (20 県市町村) 41名
	特別※	令和6年2月29日(木)	完成検査のポイント (9 市町村)
相談会	第1回	令和5年6月20日(火)	個別相談 6 団体
	第2回	令和5年8月4日(金)	個別相談 6 団体
	第3回	令和5年10月10日(火)	個別相談 6 団体
	第4回	令和5年12月7日(木) ～ 12月8日(金)	個別相談 7 団体
	第5回	令和6年3月1日(金)	個別相談 5 団体

※ 特別研修は、岩手県が主催した5町村共同の下水道事業等公営企業会計システム構築業務委託プロポーザルに関する研修や、令和2年度に岩手県が主催した企業会計移行支援業務委託のプロポーザルで契約した9市町村への研修である。

4 下水道に関する調査研究事業（資料編 資料 No. 7 参照）

カーボンニュートラルに向けた取組として、下水処理場内の汚水等を移送する管渠の熱（下水熱）に着目し、下水熱ポテンシャルの算定と活用方法について検討した。

テーマ	下水処理施設に存在する排熱利活用による温室効果ガス削減の可能性について
【研究内容】 カーボンニュートラルに向けた取組として、昨年度の調査研究で選定した施策「下水処理場に存在する排熱利活用」について、具体的な活用方法と温室効果ガス排出量削減の可能性を検証する。	
【状況】 ワーキンググループにより下水処理場に存在する熱源箇所の特定と温度の調査を実施し、下水熱ポテンシャルマップを作成した。 このポテンシャルマップから下水熱を利用した融雪や施設内空調への活用について検討した。 (1) 下水熱を利用した融雪 下水熱のみの熱源で融雪することは可能であることがわかったが、導入にあたっては、設置場所や材質によるロスなどの更なる検討を要する。 (2) 施設内空調への活用 下水熱とヒートポンプを併せて施設内空調へ活用できることはわかったが、空調は既に電気エアコンへ更新されているため、新たな方式を導入することは難しい。	

※下水熱ポテンシャルマップとは

民間事業者による下水熱の利用の検討支援を目的として、熱需要が見込まれる夏季、冬季の下水道の熱量分布を地図上に表したものの。

5 排水設備工事責任技術者の資格認定事業（資料編 資料 No. 8 参照）

排水設備工事の設計・施工管理を行う際に必要な知識や技術について、資格の認定や更新講習会を次のとおり実施した。

開催日	名 称	開催場所	人数	備考
令和 5 年 9 月 24 日（日）	排水設備工事責任技術者試験・ 受験講習会	岩手大学 （盛岡市）	受講者 87 名 （他、市町村聴 講者 3 名）	申込 93 名
令和 5 年 10 月 15 日（日）	排水設備工事責任技術者試験	岩手大学 （盛岡市）	受験者 107 名 （合格者 62 名）	申込 116 名
令和 5 年 11 月 19 日（日）	排水設備工事責任技術者更新 講習会	盛岡市民文化ホ ール （盛岡市）	更新者 531 名	更新対象者 596 名

※令和 6 年 4 月 1 日現在の登録者数：4,050 名

Ⅱ 収益事業報告書

本県の下水道整備を促進するため、下水道に関する技術支援が必要な県及び市町村に対し、下水道施設の設計・積算及び現場監督補助等の支援業務を実施した。

また、下水道施設の適正かつ効率的な運用を支援するため、市町村に対し下水道施設の長寿命化計画を策定することとし、次のとおり事業を実施した。

1 下水道施設整備支援事業（資料編 資料 No. 4 参照）

県及び市町村が施工する下水道工事に係る設計・積算及び現場監督補助等の業務を受託し、技術支援を行った。

（1）流域下水道施設整備支援

受託先	件数		契約額	備考
岩手県	(前年継続)	3 件	8,118,000円	令和4年度～5年度の債務負担

（2）公共下水道施設整備支援

受託先	件数		契約額	備考
市町村	(新規)	3 5 件	70,291,100円	R 6 へ繰越 7 件 (大船渡市(2)、花巻市(1)、八幡平市(1)、奥州市(1)、大槌町(2))
	(前年繰越)	6 件	17,138,000円	
合 計		4 1 件	87,429,100円	R 6 へ繰越 7 件

2 アセットマネジメント支援事業（資料編 資料 No. 4 参照）

市町村の下水道施設におけるストックマネジメントを支援するため、ストックマネジメント計画等の策定支援業務を市町村から受託し、技術支援を行った。

受託業務	受託先	件数	契約額	備考
ストックマネジメント計画策定業務	3 市村	3 件	13,519,000円	

Ⅲ 管 理 部 門

1 役員等の状況（令和6年4月1日現在）

（単位：人）

役 職 名	常勤	非常勤	計	備 考
評 議 員		5	5	（資料編 資料No. 1 参照）
理 事 長	1		1	（資料編 資料No. 2 参照）
理 事		5	5	
監 事		2	2	
合 計	1	12	13	

2 評議員会及び理事会の開催状況

会 議 名	開催年月日	開 催 場 所	会 議 の 主 た る 内 容
第49回理事会	令和5年 4月1日	（決議の省略）	1 代表理事選定の件
第50回理事会	5月12日	盛岡市 サンセル盛岡	1 令和4年度事業報告及び計算書類の承認について 2 第29回評議員会の招集について （報告） 1 理事長の職務執行状況について 2 令和4年度理事関係者との利益相反取引の報告について 3 令和5年度県出資等法人運営評価について
第29回評議員会	5月29日	盛岡市 サンセル盛岡	1 令和4年度事業報告及び計算書類の承認について 2 理事の選任について 3 監事の選任について 4 評議員の選任について （報告） 1 令和5年度県出資等法人運営評価について
第51回理事会	5月29日	（決議の省略）	1 代表理事選定の件
第52回理事会	11月13日	盛岡市 サンセル盛岡	1 30回評議員会の招集について （報告） 1 理事長の職務執行状況について 2 令和5年度上半期業務執行状況について 3 令和5年度県出資等法人運営評価について 4 令和4年度包括外部監査の結果に係る措置計画について
第30回評議員会	11月29日	盛岡市 サンセル盛岡	1 定款の一部改正の承認について （報告） 1 令和5年度上半期業務執行状況について 2 令和5年度県出資等法人運営評価について 3 令和4年度包括外部監査の結果に係る措置計画について
第53回理事会	令和6年 3月18日	盛岡市 サンセル盛岡	1 就業規程の一部改正の承認について 2 会計年度任用職員の給与等に関する規程の一部改正の承認について 3 令和5年度収支予算変更の承認について 4 令和6年度事業計画及び収支予算の承認について 5 令和6年度理事関係者との利益相反取引の承認について 6 資産取得資金の積立て及び取崩しについて 7 事務局長の任免について （報告） 1 中期経営計画について

3 主たる行事及び会議等の内容

年 月 日	行 事 及 び 会 議 等 の 内 容	場 所
令和5年		
5月 10日	監事監査	公 社
12日	第50回理事会（令和4年度事業報告等）	盛岡市
18～19日	第1回下水道公社技術研修開催	盛岡市
29日	第29回評議員会（令和4年度事業報告、役員選任）	盛岡市
6月 12日	第2回下水道公社技術研修開催	盛岡市
20～22日	第1回地方公営企業会計研修・個別相談会開催	盛岡市
26日	第1回社内職員研修（セクハラ・パワハラ）	公 社
7月 21日	第1回下水道三者連絡協議会	盛岡市
25日	第2回社内職員研修（メンタルヘルス）	公 社
8月 2～4日	第2回地方公営企業会計研修・個別相談会開催	盛岡市
9月 7日	令和5年度財政的援助団体等監査（予備監査）	公 社
9日	「下水道探検ツアー」開催	北上市
19日	第3回社内職員研修（睡眠と健康）	公 社
21～22日	第36回東北下水道公社連絡会議	大船渡市
24日	排水設備工事責任技術者試験受験講習会	盛岡市
10月 5日	公益法人立入検査	公 社
10～12日	第3回地方公営企業会計研修・個別相談会開催	盛岡市
15日	排水設備工事責任技術者試験	盛岡市
19～20日	第45回全国下水道公社連絡協議会	山形県
11月 6日	第4回社内職員研修（冬道事故防止）	公 社
7日	令和5年度財政的援助団体等監査（本監査）	公 社
13日	第52回理事会（令和5年度上半期報告等）	盛岡市
19日	第1回排水設備工事責任技術者更新講習会	盛岡市
29日	第30回評議員会（令和5年度上半期報告等）	盛岡市
12月 7～8日	第4回地方公営企業会計個別相談会	盛岡市
令和6年		
2月 26日	職員改革改善成果発表会	公 社
3月 18日	第53回理事会（令和6年度事業計画・予算案）	盛岡市

4 職員の状況（令和6年4月1日現在）

（1）職員の内訳

（単位：人）

組 織	職 員	会計年度任用職員	計
事 務 局 長	1 (1)		1 (1)
企 画 管 理 課	5 (0)	2	7 (0)
工 務 課	4 (2)	3	7 (2)
業 務 課	13 (2)	4	17 (2)
合 計	23 (5)	9	32 (5)

※1 （ ）内の数字は、職員のうち岩手県からの派遣職員の人数。

（2）職員研修

職員の職務責任の度に応じた基本研修及び各種法令に基づく資格者の育成や技術・知識の習得を目的とした専門研修（外部研修）を受講した。

研修	機関名等	受講者	備考
基本研修	岩手県立産業技術短期大学校	6名	岩手県能力開発セミナー
専門研修	岩手労働基準協会	3名	
	日本下水道協会	4名	
	日本下水道事業団	3名	
	上記以外	6名	省エネルギーセンター、全国公益法人協会、岩手県、岩手県自家用自動車協会

また、職員の資質向上と情報共有を目的として社内研修を3回、改革改善成果発表会を1回実施した。

回数	開催日	研修内容
第1回	R5. 6. 26	企業と人権、セクハラ・パワハラ（外部講師）
第2回	R5. 7. 25	メンタルヘルス講座（外部講師）
第3回	R5. 9. 19	働く人の睡眠と健康（DVD講習）
第4回	R5. 11. 14	交通安全（外部講師）
第5回	R6. 2. 26	改革改善成果発表会（3名発表）

（3）健康管理

① 健康診断

令和5年6月に一般健康診断及び生活習慣病予防検診を実施した。

要治療及び要精密検査と診断された職員に対して、再検査等を促し全員が受診している。（就業上の制限がある職員はいない。）

② ストレスチェック

全職員に対して、健康診断と同時にストレスチェックを実施した。（高ストレスによる医師の面接指導を希望する職員はいない。）

（4）職員採用

組織体制の強化を図るため、令和6年4月1日採用の電気職の職員を1名募集したが採用に至らなかったため、令和6年度も募集することとした。

①第1回募集

- ・募集期間：令和5年5月8日～5月26日（大卒、35歳以下）
応募者なし

②第2回募集

- ・募集期間：令和5年7月5日～8月31日（大卒、35歳以下）
応募者なし

③第3回募集

- ・募集期間：令和5年10月2日～11月20日（経験者）
応募者1名
- ・説明会：令和5年11月7日（火） ※1名参加
- ・採用試験：令和5年12月3日（日） ※1名受験、合格発表後に辞退

5 令和5年度財政的援助団体等監査

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定に基づく監査を受検した。

予備監査：令和5年9月7日（木）

本監査：令和5年11月7日（火）

監査結果：概ね良好と認められる。

※契約書類の一部に不備があるとされたことについては、措置を講じている。

6 令和5年度公益法人立入検査

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年法律第49号）第27条第1項及び第59条第1項の規定に基づく立入検査を受検した。

検査日時：令和5年10月5日（木）

検査結果：概ね適正な運営状況であることを確認した。

※個別の修正事項については、対応済みである。

7 東北下水道公社連絡会議

第36回東北下水道公社連絡会議を当公社が当番県として令和5年9月21日から22日の2日間開催した。

各県から提出された協議議題7項目について、課題の共有と意見交換を行い、2日目には「大船渡浄化センター」及び隣接する「アクアポニックスおおふなと」などを視察した。

【参加公社等】

公益財団法人青森県建設技術センター（3名）、公益財団法人山形県建設技術センター（3名）、
公益財団法人福島県下水道公社（3名）、公益財団法人岩手県下水道公社（12名）

8 交通事故

東北縦貫自動車道下り線において、ガードレールに接触する単独事故（自損）が発生した。この事故による職員の負傷はないが、公用車が損傷した。

当該事故を受け、全職員に対して十分な睡眠と運転中には疲れる前に休憩を取るよう注意喚起した。

①日時：令和6年3月27日（水）午前11時40分頃

②場所：岩手県滝沢市巣子（東北縦貫自動車道弘前下り線）

③車両：マツダ2（収益事業・公共下水道施設整備支援事業）

令和5年1月20日購入 購入価額 2,242,130円

令和6年3月31日時点の帳簿価額 1,774,087円

④原因：居眠り

⑤物損：ガードレールを管理する東日本高速道路㈱立会いのもと確認したところ、復旧命令はしないとされた。

公用車は、フロントバンパー左側から助手席ドアまで損傷した。